

<p>問題1</p>	<p>（身体と自己をめぐる哲学的論考の読解）</p> <p>問題一は、「身体」と「〈わたし〉」との関係を主題とする哲学的・思想的文章を題材とし、抽象度の高い文章を論理的に読み解く力を測ることを目的としている。</p> <p>本文では、身体が〈わたし〉にとって最も近い存在でありながら、同時に制御や把握の難しい存在であることが論じられ、その不確かさを補うものとして衣服が果たす役割が段階的に展開されている。</p> <p>設問では、語句や表現の文脈的意味理解、比喩や抽象表現の解釈、段落間の論理関係の把握、筆者の主張の整理などを通して、文章全体の論旨を踏まえた理解ができているかを問うている。</p> <p>単なる印象的理解にとどまらず、筆者の思考の進み方を追い、概念的な議論を正確に捉える力が備わっているかを評価する。</p>
<p>問題2</p>	<p>（民主主義と政治参加をめぐる社会的論考の読解）</p> <p>選挙やデモをはじめとする政治参加のあり方を論じた社会的論考文を用い、現代社会の制度や概念を論理的に理解する力を測ることを目的としている。</p> <p>本文では、選挙の持つ機能と限界が整理されたうえで、政治参加をより広く捉え直す視点が提示されており、具体例と抽象的議論とが往復しながら展開されている。</p> <p>設問では、語句の意味理解や文脈把握に加え、筆者の主張の要点、具体例が果たす役割、論の展開における転換点などを的確に捉えられているかを問うている。</p> <p>これにより、文章に示された情報を整理し、筆者の結論に至る論理構造を把握する力や、社会的テーマについて文章に即して思考する力を評価する。</p>